

令和3年度

芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「 書 I 」 (光村図書出版)						
副教材等	「 」 (出版)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

小・中学校で学んだ書写の学習を基礎として、表現や鑑賞など書に親しむ活動の中で感性を豊かにし、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていきましょう。

2. 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図る。また、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3. 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a: 書への関心・意欲・態度	b: 書表現の構想と工夫	c: 創造的な書表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な諸表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技術を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	・学習活動への参加状況や態度 ・学習の記録 ・制作カード ・学習成果(作品)	・学習成果(作品) ・制作カード	・学習成果(作品) ・制作カード	・学習活動への参加状況や態度 ・鑑賞カード ・学習成果(作品)
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習(姿勢・用具の持ち方・筆づかい)を振り返り、学習の基盤を作る。 ・書写と書道の共通性と相違を理解する。 ・くらしの中の書への関心を高める。 	○	○	○	○	a: 書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b: 書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c: 基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d: 書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品学習の記録制作カード
1	漢字の書【楷書】 古典臨書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書の変遷について学ぶ。 ・さまざまな漢字の古典を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・漢字の古典鑑賞により、多様な表現を理解する。 ・楷書古典の臨書学習により基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学ぶ。 	○	○	○	○	a: 書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b: 書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c: 基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d: 書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品学習の記録制作カード
2	【行書】 古典臨書	<ul style="list-style-type: none"> ・各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞する。 ・行書古典の臨書学習により、行書の特徴を踏まえた用筆法、運筆法を学ぶ。 	○	○	○	○	a: 書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b: 書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c: 基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d: 書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品学習の記録制作カード
2	篆刻を楽しむ 創作をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・姓名印を作成し、創作作品に押印する。 ・古典の表現の多様性を知る。 ・自らの思考や感動を表現できる語句を選び、楷書・行書の特徴を理解し、用具・用材や形式、構成などの表現方法を工夫し作品を制作する。 ・制作した作品を鑑賞しあう。 	○	○	○	○	a: 書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b: 書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c: 基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d: 書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品学習の記録制作カード
3	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立や変遷を学ぶ。 ・名筆の学習を通して、仮名の書の美しさや特徴を理解する。 ・仮名の独特の筆づかいに慣れ、基本用筆・運筆を習得する。 ・変体仮名の意味を学ぶ。 ・単体や連綿体など表現を工夫し、作品を制作する。 ・仮名の古典を鑑賞し、感じたことを話し合い、鑑賞力を深める。 	○	○	○	○	a: 書に関心をもち、主体的に活動に取り組んでいるか。 b: 書のよさ、美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされているか。 c: 基礎的な能力を身に付け、効果的な表現の技法を用いることができるか。 d: 書のよさや美しさを創造的に味わっているか。	作品学習の記録制作カード

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
 c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。